

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① 県内における広域通信制高校への入学者数、調査結果まとまる
 - ② 「県・市町村青少年相談担当職員研修会東毛地区」参加受付中
 - ③ 「第2回ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」を開催します
 - ④ 県スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用しませんか
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室『関わり方の工夫』こんなときどうする？
 - ② ひきこもり支援講演会「フレイル予防に取り組もう」
- 3) 地域の活動紹介
 - ① 群馬県スクールソーシャルワーカー 今村井子（せいこ）さん

1 県内における広域通信制高校への入学者数、調査結果まとまる

近年、多様な学び方の進学先として広域通信制高校（入学できる都道府県が3以上）への関心が高まっています。

通信制高校はレポート（添削指導）だけでなく、スクーリング（面接指導）が必要なので、広域通信制高校の中には、外部の協力校や学習センターと連携して学習の環境を整えています。普段はサポート校に通い、スクーリングの時だけ本校に通うタイプもあります。

このため、学校の所在地以外にもスクーリングを行える施設を持ったり、まとめて通学できるように宿泊施設を用意したり、ネットを活用して授業を行うなどしています。

本県でも年々広域通信制高校への入学者数が増えています。

特に、中学卒業後の進学先、高校入学後の進路変更先として入学する人が年々増えて来ています。

高校中退者等の進路相談・支援を行っている県子ども・若者支援協議会では、こうした実態を把握するため、毎年、県内の子どもたちが進学している広域通信制高校（学習センター含む）・同サポート校の協力を得て入学者数調査（令和3年度5月末現在）を行っています。

注）県内にサテライト施設を置く広域通信制高校（平成29年度文科省調査）を中心に下記のとおり調査対象としました。

- 【調査協力校】 * 今回調査の新規追加校
- クラーク記念国際高等学校（前橋・桐生キャンパス）
 - 第一学院高等学校（高崎キャンパス）
 - KTCおおぞら高等学校（高崎キャンパス）
 - わせがく高等学校（太田・前橋キャンパス）
 - 鹿島学園高等学校（館林・伊勢崎・ぐんま・高崎・北高崎・前橋）
 - トライ式高等学院（高崎キャンパス）
 - ヒューマンキャンパス高等学校（高崎学習センター）
 - 飛鳥未来きずな高等学校（高崎・大宮キャンパス）
 - ルネサンス高校（茨城県大子町本校）
 - N高等学校（沖縄県うるま市伊計本校）
 - <S高等学校（茨城県つくば市本校）本年4月開校分も含む>

- NHK学園高等学校（協力校 昌賢学園）
 * 成美学園伊勢崎校
 * 明蓬館高校（ミッドランド国際高等学院）
 さくら国際高等学校（富岡・高崎学習センター他）
 地球環境高等学校（長野県佐久本校）

注）調査対象は、広域通信制高校広域通信制高校：

【結果の分析】（出願資格）

①入学者合計

令和2年度720人、2年連続700人超。

5月末現在で614人、今後の転入増で800人超が予想される。

②新入学（中学卒業見込み、中学を卒業した者）

令和3年度414人、初めて400人超、前年度（297人）4割増。

中卒後の進学先として広域通信制高校の認知度が高まる。

③転入学（高校に在籍している者）

令和2年度386名、入学者数の50%以上を占める。

高校生の進路変更先の受け皿として重要な役割を担っている。

④編入学（高校を中途退学した者）

令和2年度37名（4.4%）、全体で（前年5.1%）減少傾向。

調査結果は県HPでご覧いただけます。

http://www.pref.gunma.jp/03/bm01_00035.html

2 「県・市町村青少年相談担当職員研修会・東毛地区」申込み受付中

令和3年度「県・市町村青少年相談担当職員研修会」を千代田町で開催します。ただ今、申込みをオンラインで受付中（先着順）です。

日時 7月29日（木）13:00～15:30（開場12:30）
 会場 コスメ・ニスト千代田町プラザ（町民プラザ）
 邑楽郡千代田町大字赤岩1701-1 電話0276-86-6311

テーマ 「不登校・ひきこもり状態を続ける子どもの理解と対応」
 — 本人にとって安全・安心な居場所、学びの場を考える —

内容

【パネルディスカッション第1部】

■テーマ「安全・安心な居場所とは」

— 子どもたちにとって安全・安心な居場所 —

報告者 県立館林商工高校 養護教諭 平田 亜紀子氏

助言者 みどりクリニック院長 医学博士 鈴木 基司氏

進行役 石川 京子氏

【パネルディスカッション第2部】

- テーマ「本人の学びを支援する」
 一 学びの意欲をどのように支援していくか 一
 報告者 まなびバ! シリウス (フリースクール)
 安楽岡 優子氏
 発言者 県立太田フレックス高校通信制
 教頭 亀井 絹子氏
 群馬県私立通信制高校連絡協議会
 会長 清水 洋氏
 (クラーク記念国際高等学校 前橋校学校長)
 進行役 石川 京子氏

【申込み方法】 定員 150人 (先着順)
 ぐんま電子申請受付システムで申込みください。

■受付システムはこちらのURLをご利用ください。

https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=3826

締切り：7月20日(火) 定員を超えた場合は受付を終了します。

<問い合わせ先>

児童福祉・青少年課 青少年育成係 電話 027-226-2393
 e-mail : kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

3 8/8「第2回ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」を開催します

不登校、ひきこもり、ニート、多国籍児童生徒、非行、LGBT、
 貧困などの困難な状況にある子ども・若者の支援に取り組んでいる民間の
 支援者のネットワークづくりと公的な機関との連携を目指して
 「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム実行委員会」では、昨年につ
 けてフォーラムを開催します。

参加を希望される方はお早めに申込みください。

日時 令和3年8月8日(日) 13:00~16:00 (入場無料)
 会場 高崎市市民活動センターソシアス (高崎市足門町1669-2)
 内容 第2回ぐんまの子ども・若者支援フォーラム
 ~子ども・若者が幸せでいるために~

【授業】

先生 湯浅 誠氏 (ゆあさ まこと)
 /東京大学先端科学技術研究センター 特任教授
 /NPO法人全国こども食堂支援センター むすびえ 理事長

1990年代よりホームレス支援・生活困窮者支援に従事
 2009年から3年間、内閣府参与

【ホームルーム：分科会】 一つ選んで参加できます

- ①榛名 多様な子どもたちの支援のススメ
- ②妙義 あきらめたきもちから、立ちあがるきもちへ
- ③赤城 居場所と社会参加

【参加の申込み】

人数 240名 (先着順) 締切り 7月31日(土) まで
 方法 こちらからお願いします

<https://minamikaze2015.wixsite.com/home>

問い合わせ先 実行委員会事務局（わせがく高等学校内）
電話 027-289-0692
メール minamikaze2015@outlook.jp

4 県スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用しませんか

スクールカウンセラー（SC）と、スクールソーシャルワーカー（SSW）の違いを、皆さんご存じですか。

SCは児童生徒や保護者の相談を受けて、解決の方法を一緒に考えていく臨床心理士の資格や相談業務の経験を持つ「心の専門家」です。県内全ての公立小・中・高校に配置されています。

SSWは子どもたちが抱えている複雑な問題を整理し、学校や関係機関と連携して福祉の立場から解決策を探す、社会福祉士や精神保健福祉士の資格を持った「福祉の専門家」です。

県内5つの教育事務所に配置されていて、管内の指定された中学校を2週間に一度、定期的に巡回して支援を行っています。

SSWが対象にしている問題は、①家族関係に起因する事案（家庭内暴力、精神疾患）②生活困窮に起因する事案③児童虐待④暴力、非行⑤本人の心身の健康問題（発達障害含む）⑥人間関係（いじめ、友人との関係）です。

児童生徒の不安や悩みの要因（環境）に働きかける役割としては、当事者に直接アプローチすること、学校内に支援態勢を構築すること、関係機関とのネットワーク構築や連携・調整を図ることがあります。

具体的な活用事例は「群馬県スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業 一みんなの力で解決一」（平成27年4月群馬県教育委員会）をご覧ください。

http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=229

SSWの活用にあたっては、まずは学校に相談してください。

<問い合わせ先>

群馬県教育委員会 義務教育課（生徒指導係）
電話：027-226-4621

5 6/24 ひきこもり家族教室『関わり方の工夫』こんなときどうする？

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に家族教室を開催します。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会にしませんか。家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなるという研究結果があります。

初めての方は個別の相談を受けた後、必要に応じて教室をご案内しています。

支援者の見学につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮した上で受け入れたいと思いますので、希望される方は事前に連絡をお願いします。

【家族教室】

教室：6月24日（木）13:30～16:00

内容：『関わり方の工夫』～こんなときどうする？～

教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）

連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル 027-287-1121

6 7/18 ひきこもり支援講演会「フレイル予防に取り組もう」

ひきこもり経験者・家族が仲間とともに明るく前向きに歩き、学び・成長することを目的とする団体、KHJ群馬「はるかぜの会」では、自粛生活が長引いている今、「フレイル予防」について学びます。

【ひきこもり支援講演会】

日時：7月18日（日）13:30～15:00

会場：群馬県庁昭和庁舎 35会議室

題目：「フレイル予防に取り組もう」

講師：前橋市長寿包括ケア課

管理栄養士様・理学療法士様

内容：フレイル予防の必要性、実践方法、体操を紹介していただきます。

対象：関心のある方どなたでも。

（親世代、子世代を問わず受講したい内容です）

定員：24名（先着順、予約制）

〔申込み お問い合わせ〕

KHJ群馬はるかぜの会 TEL 090-2916-0346

harukazenokai.gunma@gmail.com

注）感染対策による定員数に達した場合には、受付終了とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

KHJ群馬はるかぜの会 TEL 090-2916-0346

harukazenokai.gunma@gmail.com

KHJ全国ひきこもり家族会連合会の詳細はHPをご覧ください。

<http://www.khj-h.com>

7 地域の活動紹介 群馬県スクールソーシャルワーカー 今村さん

中高生の二人の息子の子育てをしながら、SSWとして高崎市内の中学校や富岡市内の小中学校を毎月定期的に訪問しています。

去年は、「進路のこと」「就職のこと」「進学費用のこと」「生活費のこと」などで、日々の生活で本人や家族が抱えている困難な状況を乗り越える手立てについて、様々な支援内容や支援機関につながりをつくっていききました。そのことで、本人が自分自身と向き合うきっかけができたりました。

困っていることを言葉にすることで、物事が解決に向かうことがたくさんあります。電話でも面談でも相談を行うのでSSWを是非、活用してください。

<相談事例>

保護者Aさんの場合：「体調を崩し、働けなくて困っている」

⇒ 仕事を探す手伝い、「無料低額診療制度」を紹介

保護者Bさんの場合：「校外の安全・安心の居場所、学びの場」
⇒ 地域の子ども食堂や無料学習塾、弁当や食材支援を紹介

多くの人にSSWの活動を知ってもらうことで困りごとを抱える家族に直接つながるきっかけが出来ればと思い、「群馬県スクールソーシャルワーカーだより」（不定期）を学校で配布しています。

また私自身も、地元安中市で「子どもワクワク食堂実行委員会」を主催、ボランティアの皆さんと支援活動に取り組んでいます。



次号は、2021年7月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部
児童福祉・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-223-6526
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>